

【資料 1】

審議会委員事前質問

1. 評価・分析に関すること・・・1 ページ
2. 事務事業に関すること・・・5 ページ
3. 成果指標に関すること・・・6 ページ
4. 予算・決算に関すること・・・8 ページ
5. その他・・・・・・・・・・9 ページ

1. 評価・分析に関すること

NO.	施策番号	施策キーワード	事前質問	事務局補足	回答	担当部局
1	1-1-1	健康づくり	質問の内容からして、参加度の大幅な減少はコロナだけが原因ではないように思うが、どのように考えているか。	まちづくりアンケート設問「生涯を通じ、健康に暮らしている。」	生活改善につながるようなきっかけづくりとして、健康マイレージ事業の啓発やとりくみやすい健康情報の提供に努めます。	健康推進課
2	1-1-1	健康づくり	参画度がコロナ禍とはいえかなり下がっていることにより進捗度としてある程度進んだと評価してもいいのでしょうか？ 参画していないというアンケートの結果をもとに考えるのであれば目標の達成状況と結果分析によるものが、行政の施策で健康寿命の伸びとしてとられていいのかどうかと疑問に感じました。	参画度＝まちづくりアンケート 進捗度＝成果指標（KPI）達成状況	成果指標は目標値に対する進捗度で一定の成果を計るもので、市民まちづくりアンケートの結果は、全施策の相対評価として捉え、満足度および参画度を上げることを目標としています。	（事務局回答）
3	1-1-1	健康づくり	健康福祉の分野においては、まちづくりアンケートの結果は満足度が向上してきている。各地域のサロンや健康づくり支援などの充実によるものと考ええる。しかし、健康づくりアンケートについては平成29年度満足度1位から令和2年度は10位となり、市民参画度も大幅に減少している。市民にとっては、年々高齢化になってくる現状では不安を感じていることが伺えるのではないかと。健康福祉の啓発、取り組みに対して、幅広い年齢層の市民にとって浸透していなかったのではないかと。指標が健康寿命のみとなっているがこれだけで判断はできない。		令和2年度は新型コロナウィルス感染症に対する、漠然とした不安や自粛のため出掛ける場や居場所がないことで健康に関する不安も増加したものと考えられます。今後も、感染症や健康づくりに関する正しい知識の普及を幅広い年代層へケーブルテレビやYouTubeを利用し、提供することによっていつでもどこでも健康づくりを啓発したいと考えています。 また、健康指標に関しては、健康は長年の生活の積み重ねであるため事業の参加者数などより健康寿命を指標としております。	健康推進課
4	1-1-2	医療	参加度が大きく減少した理由をどのように考えているか。	参加度（＝参画度）＝まちづくりアンケート ●まちづくりアンケート設問「救急ダイヤルなどを活用し、みだりに救急車を使わないなど、適切な受診行動に心がけている。また、医療保険制度が安定的に運営できるよう、制度の理解を深めている」	アンケートの回答方法にインターネットが加わり、医療に関心の高い高年齢層の回答割合が減少し、関心の低い若中年層の回答割合が増えたことが理由と考える。	医療福祉政策課
5	1-3-1	子育て・少子化対策	子育て・少子化対策は、成果指標進捗度も、外部評価の評価も◎であるのに、まちづくりアンケート調査結果の満足度、参画度の順位が低いのは、行政施策と市民意識に乖離があるのではないかと。指標2において1歳6か月児検診で実施する「生活アンケート」から伊賀市で今後も子育てをしていきたいと思う乳幼児の親の割合である98.295.0%を指標とすることに無理があるのではないかと。	過去（H30）の外部評価の評価結果：◎（適切な評価）	・コロナ禍において、子育て支援事業や教室が中止になるなど、自粛のため出掛けることを制限され、参画度が下がった原因のひとつと考えます。 ・1歳6か月健診の受診率（令和2年度97.3%）が高いので、「伊賀市で今後も子育てをしていきたいと思う親の割合」を育児がしやすい地域の指標の一つとして捉えてよいと考えます。 ・「伊賀市で今後も子育てをしていきたいと思う親の割合」の実績値が93.3%であり、元年度に比べ1.3%上昇しています。 よって目標を95.0%とおくことは妥当だと考えます。	健康推進課
6	2-1-3	事故・犯罪防止（交通安全・消費者保護）	満足度が大きく増えた理由、参加度が減った理由を、それぞれどのように考えているか。	まちづくりアンケート設問 ●満足度「犯罪や消費者被害を未然に防げている」 ●参画度「犯罪や消費者被害にあわないよう、正しい知識を身に付けている。また、交通安全に対する意識を常に持ち、交通マナーを守っている」	満足度については、コロナ禍の中、警察署、交通安全協会、三重県と連携し、交通安全期間はもちろん、年間を通してケーブルテレビなどメディアを通じた啓発に重点的に取り組んだため。 また、参画度については、コロナ禍であるため、大規模な交通安全の出発式など取り止めたことから、住民の参加する機会が減少したため。	市民生活課
7	3-1-1	観光	H30の外部評価は◎であるが、R2の進捗度が×となっていることは、コロナの影響によるものであるため、アフターコロナに対応すべく見直しせざるを得ないと思う。	外部評価◎＝適切な評価 進捗度＝成果指標（KPI）達成状況	コロナに対応した事業実施の結果、まちづくりアンケート結果にも一定の効果が表れていると考えます。（前回審議会において事務局説明内容）	（事務局回答）
8	3-2-1	農業	満足度が大きく増えた理由をどのように考えているか。	まちづくりアンケート設問「自然と共存し、人と人がつながる農業が元気である」	新型コロナウイルス感染症の影響により「自宅で作る料理を作り、食べる」ことが増加しており、当該事業の中でも、特に「地産地消」「食育」についての事業に対する市民の方の理解が深まっているものと考ええる。	農林振興課
9	3-3-2	商工業	満足度が大きく増えた理由をどのように考えているか。	まちづくりアンケート設問「商工業が盛んである」	コロナ禍で大きな影響を受けた地域経済を再生するためプレミアム付商品券発行事業を行い、市内事業者、消費者が互いに活性化できたからと考えます。	商工労働課
10	3-3-2	商工業	この指標が増えたのは、コロナ関係の補助金を受け取るために入会が必要だったからではないのか。本当に「商工業活動が盛んになった」と考えてよいのか。	指標：新規加入事業者数	指標が増えた理由は事業に参画するために入会が必要だったことは事実です。本当に「商工業活動が盛んになった」と言えるのはその活動を継続できた時です。そのために継続的な支援が必要と考えます。	商工労働課
11	3-5-1	雇用・就業	コロナの終息により自然に回復すると見るか、アフターコロナ時代における新たな施策転換を図るのか？		時代の流れを見ながらアフターコロナ時代における新たな施策転換を図ればと考えます。	商工労働課

NO.	施策番号	施策キーワード	事前質問	事務局補足	回答	担当部局
12	3-5-1	雇用・就業	この指標におけるコロナ禍の影響はどの程度あると考えているか。	指標：伊賀管内の有効求人倍率	大きく影響あると考えます。	商工労働課
13	3-6-1	起業支援	この指標は目標を大きく超えていても、満足度と参加度が低いままであることについて、どのように考えているか。	指標：新規起業件数	「新規起業」という事業の性質上参加度は低水準となってしまうが、関係機関との連携をより密にすること、インキュベーション関係以外の情報提供（融資制度、補助金等）も行っていく予定です。	商工労働課
14	4-1-1	都市政策	これらの指標が目標を大きく超えていても、満足度と参加度が低いままであることについて、どのように考えているか。	指標：①都市計画区域の再編と新たな土地利用管理制度の導入、②新たな土地利用管理制度における条例違反件数、③伊賀市公園施設長需要化計画に基づく更新進捗率	都市政策については、中長期的な視点のもと、政策を進めていることから、短期的には満足度と参加度が低いままですが、長期的には改善していくものと考えています。	都市計画課
15	4-2-2	公共交通	令和2年度地域運行バス制度の要請説明地区との今後の取り組みについて 免許返納高齢者が増えていく中で生きがいを感じられる一つでもある外出の機会を考えて頂きたい。		市民・地域・交通事業者・企業等や市の福祉部局と連携しながら、あらゆる移動手段を総動員して交通ネットワークの維持・確保を図ること、外出機会の確保に努めたいと考えています。	交通政策課
16	4-2-2	公共交通	低い水準の満足度と参加度を向上させるために何が必要であると考えているか。		一昨年度実施した鉄道・バス利用者アンケートでは公共交通への満足度が高かったため、利用の有無により満足度の差異が大きい実情があります。今は公共交通をご利用いただいていない方で公共交通の利用が可能な方は、移動手段について考えていただけるよう、公共交通の利便性についての啓発が、特に若年層から必要と考えます。	交通政策課
17	5-2-1	男女共同参画	地域の自治会等での女性役員登用や参画が少なく意識改革が必要であると思います。市の審議会、各種委員会の女性登用には努力を今後もして頂きたいと思います。伊賀市の取得率について男性の育休の取得率が低いので企業等への啓発が必要であると思います。		ご指摘のとおりでございます。現在の取り組み状況は下記のとおりです。 ・住民自治協議会等における男女共同参画の推進については、住民自治協議会等での女性役員の登用を依頼し、運営委員会の女性登用率が0人の住民自治協議会に対するヒアリングを行っていましたが、令和2年度はコロナ禍のためヒアリングを実施しませんでした。 また、地域を守る女性防災リーダー養成連続講座「防災こころ実力レッジ」を開催しました。第1期生として、12人の修了生が誕生しました。男女共同参画の視点でアドバイスできる人材として住民自治協議会での活躍を期待し、住所地の住民自治協議会へ修了生の報告をしました。 ・市における女性登用の推進については、審議会委員に女性の登用を推進するよう、庁内各課へ要請し、女性委員の登用率が40%未満の審議会等については、「審議会等の女性委員選任状況調査票」の提出を依頼し、女性委員を増やせない理由及び今後の選任方針を調査しました。今後も引き続き、取り組みを続けていきます。	人権政策課
18	5-3-1	学校教育	最近ヤングケアラーが問題になっています。伊賀市の現状について、今後子どもたちの学力保障のためにも施策に取り組みについて明示が必要であると思いますか。		虐待やネグレクト等、子どもを取り巻く課題は伊賀市においても存在します。ヤングケアラーについては、欠席や遅刻が多い子ども、授業に集中していない子ども、宿題をしない子ども等の家庭背景に気を配りながら、子どもたちの様子を丁寧に把握し、関係機関と連携しているところです。ヤングケアラーについて文言として明示はしていませんが、学校及び学校教育課としては、ヤングケアラーについての理解を深めるとともに、相談しやすい環境を整え、子どもの変化を見逃さず、福祉部局や関係機関と連携したり、SSWを派遣したりすることで、子どもたちを守る取組を進めていきます。	学校教育課
19	5-3-2	教育環境	成果指標進捗度が◎なのに対し、まちづくりアンケート調査結果の満足度、参画度が低下傾向にあるのは、行政施策と市民意識に乖離があるのではないかと？校区再編がおおむね完了することから新たな指標を設定して市民意識に即した施策を打ち出すべきではないか？		成果指標は、教育環境においてこれまで課題の一つであった空調設備設置の普及を目指すもので、内外の関心も高く意義のある取組であったと考えています。このことと並行して、学校に求められる機能や安全確保の取組等は、新しい視点やいっそうの高度化を求められています。教育委員会としては、これまでの取組を継続し、児童・生徒が1日の大半を過ごす学校の環境整備に努めたいと思います。 また、校区再編についても、現在取り組んでいる校区があること、今後の校区についての考え方も整理する必要性を認識しているところであります。	教育総務課

NO.	施策番号	施策キーワード	事前質問	事務局補足	回答	担当部局
20	5-4-1	生涯学習	これらの指標について、コロナ禍で大きく増加させることは難しいと思うが、満足度や参加度の更なる向上策とあわせて、今年度の取り組みの特徴的な内容があれば教えてほしい。	指標：①生涯学習施設の利用者数、②図書の出数、③児童書の出数	①新型コロナウイルス「三重県まん延防止等重点措置」発令後、伊賀市生涯学習センターをはじめ各公民館の貸館時間を午後8時までとしたが、感染拡大防止対策を取りつつ事業を継続するとともに、事業によっては、施設参加型に加え、新たにリモートによる参加方法も導入し、オンラインの活用等新しい生活様式に対応した方法で事業を実施している。 ②時事や地域性に合った展示等の充実や他の機関と連携を取りながら図書館の利用について広く周知します。また、感染症対策を継続し、図書消毒機活用についてもPRします。 ③YouTubeを用いた読書の楽しさのPRや多言語のお話の会の実施回数を増やすなど、コロナ禍でも子どもたちが読書に親しめるよう読書活動を支援します。	生涯学習課 上野図書館
21	6-1-1	多文化共生	この指標は長らく横ばいで推移しているが、これを更に増加させるために、多文化共生センターが立地する上野地区以外の地域において、どんな取り組みを考えているか。	指標：外国人が住んでよかったと感じる割合	現在、オール伊賀市で多文化共生を取り組むべく、指針策定を行っています。 それぞれの課題や満足度の向上につながるよう、官民一体となって施策や連携の在り方について検討しています。	市民生活課
22	6-4-1	住民自治	地域まちづくり計画を見直す住民自治協議会の数を増やすための実施事業が研修会とヒアリングだけでは、目標達成の取り組みとして弱いのではないか。		「地域づくりは人づくりから」といわれるように、住民自治の進展には、人材育成が必要不可欠です。 また、特定の人だけが住民自治を担うのではなく、地域で支え合う体制づくりも重要となります。 そのためには、研修会等を通じて住民自治に携わる人材を広く育成し、併せて、他地域との情報共有や事例共有を行い、「学び合い・磨き合い」により、自治力を高め合うことが重要であると考えます。 これらにより、自ら考え、自ら行動する、住民自治が確立していくものと考えます。 そのために、行政としてそれぞれの地域ごとにヒアリング等を実施するなど、自主自立のまちづくりに向け併走型の支援を行っていく必要があると考えます。	地域づくり推進課
23	6-4-1	住民自治	指標①にある「地域まちづくり計画の見直し数」について、合併から10余年が経過していることから、この指標の設定は重要なことだと思います。自治協働に計画見直しを求める以前に、行政として求める自主自立の姿を十分に説明することが不可欠と思いますが、具体的にはどのような手続きで住民自治の現状や課題、期待すべき成果等について各自治協に説明し、見直しを推奨しているのでしょうか？			地域づくり推進課
24	7-1-1	地域内分権	これらの指標を増加させるための取組内容に具体性を感じられない。「N-1グランプリ」だけで増加が見込めると考えているのか。		課題解決に向けた改善案の一つとして、「N-1グランプリ in いが」事業を創設するものです。	(事務局回答)
25	7-2-5	進行管理・行政マネジメント	満足度と参加度を更に高めるための市民への周知方法について、報告書の表現を分かりやすくすること以外に考えている具体的な取り組みはあるか。		行政総合マネジメントサイクル推進の取組みとして、事務事業を見直すための仕組みを構築中であり、その中で市民周知のほか市民参画の視点も含め検討していきたいと考えています。	総合政策課 デジタル自治推進局
26			今回は全体的な成果指標ということで、まちづくりアンケート、指標達成状況等により検証を行いました。コロナ禍のため、三密を避けるための会議、行事が減少したことにより、目標達成できない指標が多い状況となりました。しかし、ハブリンクコメントなど現状に応じて新しい生活様式での取り組みもされており今後はさらに幅広い年齢層の意見反映を期待します。		取り組みに対する評価として捉えさせていただきます。	事務局回答
27			生活・環境分野の参画度が高いながらも以前より低くなっている。何故か？		コロナ禍において、防災訓練や各種啓発事業への参画機会が減少したことが影響していると考えます。	事務局回答
28			くらしの現状についてを見て、もっと伊賀に愛着を持つ人が増える必要がある。		ご指摘の通りです。第3次基本計画に包含した、まち・ひと・しごと総合戦略の取り組みを推進し、「誇れる伊賀市」を目指します。	事務局回答

NO.	施策番号	施策キーワード	事前質問	事務局補足	回答	担当部局
29			文化・地域づくり(多文化共生についても)の分野を見ると、よりよくしたいという市民の意欲が垣間見える。		取り組みに対する評価として捉えさせていただきます。	事務局回答
30			子育てや教育分野での不安を減らし、外国人と接する機会、親子を支える仕組みを整え、一丸となって愛着のある伊賀を創れる施策が求められる。		取り組みに対する評価として捉えさせていただきます。	事務局回答
31			単に表面的な評価を上げるのではなく、市民が望む伊賀市の在り方を提示してほしい。		市民が望む伊賀市のあり方については、総合計画審議会やタウンミーティング、パブコメ等、市民のみなさんと共に検討を重ねた基本構想に掲げ、基本構想に基づき施策・事業を展開しております。	事務局回答

2. 事務事業に関すること

NO.	施策番号	施策キーワード	事前質問	事務局補足	回答	担当部局
1	1-1-1	健康づくり	伊賀市は塩分摂取量が県内で一番高い状況の中で高血圧症等の病気の発症原因となるため減塩に対する啓発、啓蒙事業について今後どのような取組みを考えておられるのでしょうか。高血圧予防料理レシピ等の配布できるようなイベントもいいのではないかと思います。		コロナ禍においては、イベント開催は難しい状況ですが、今後イベントが可能になれば食生活改善推進協議会の協力を得るなどして減塩をテーマにしたイベントを検討していきたいと考えます。また、食生活に関する情報提供をケーブルテレビ等で実施し、啓発をしています。今後も、情報提供に関しては継続をしていきます。	健康推進課
2	2-1-1	危機管理	災害時の要援護者支援の支援体制の拡充が地域の中で取り組んでいるのでしょうか。		災害時要援護者の登録者数が約2万人と災害時に実効性がある名簿となっております。R元年10月に新たに「避難行動要支援者避難支援プラン」を策定し、避難支援者等関係者に警察、教育委員会を加え運用を実施しております。現在の対象者数は約2,500人となっております。情報提供に同意された方の名簿につきましては、申請いただいた住民自治協議会、民生委員・児童委員会等へ情報を提供させていただいております。今後支援体制の拡充に向けて、関係団体、健康福祉部と連携し個別避難計画の策定に向けた検討を進めていきたいと考えております。	総合危機管理課
3	2-1-1	危機管理	あんしん防災ねっこの登録者数について目標の人数まで1,900人弱程足りていませんが、情報提供を無料通話アプリLINEでも発信することは考えられますか。		あんしん防災ねっこの登録者数の増加に向けて、広報やホームページを活用し啓発を行いました。今年度作成予定の情報提供システムにおいて、アプリを導入し、情報発信を行う予定であります。また、アプリ導入後は現在運用されています伊賀市公式LINEとの連携を行いたいと考えております。	総合危機管理課
4	2-1-2	消防・救急	救命講習年間受講者数についてコロナ禍で講習の中止・延期が目撃より大幅に少なかった原因ですが、講習が再開したら是非受講したいと多くの人・企業に思ってもらえるようなPRの工夫はありますか。また、言語や文化が異なる外国の方たちへの講習を考えているとのことですが、具体的に進めている内容はありますか。		受講者数が少ない原因はコロナ禍で講習を中止していた期間が長く緊急事態宣言や蔓延防止措置が発出されるたびに予定していた講習会の延期又は中止をお願いしている状況です。需要が少ないわけではありません。本年度は、4月20日～6月20日まで救命講習を中止していましたが、受講者人数を制限して開催している中7月11日時点で80名の受講がありました。外国の方への取り組みとして、昨年11月14日に伊賀日本語の会の皆様を対象に救命入門コースを実施しました。本年度も継続して実施するとともにテキストや資料の改訂を行います。	消防総務課
5	2-1-3	事故・犯罪防止（交通安全・消費者保護）	高齢者の運転、歩行、自転車等の交通事故が多発しており、事故防止のために交通安全協会との日頃の連携も不可欠だと思いますがその位置づけについて。		伊賀市では、警察署、交通安全協会、三重県の4者で連携をして伊賀市交通安全推進協議会の幹事会として、季節ごとの交通安全運動に対する取り組みを実施しています。	市民生活課
6	2-1-3	事故・犯罪防止（交通安全・消費者保護）	在留外国人の自転車走行に対して交通ルール、標識の認識徹底を各事業者への啓発についてはどのようにされているのでしょうか。		啓発に関して、多文化共生センターのSNS上で発信しているとともに、外国人向けの情報誌でも啓発しています。	市民生活課

3. 成果指標に関すること

NO.	施策番号	施策キーワード	事前質問	事務局補足	回答	担当部局
1	1-1-2	医療	指標① 二次救急の患者受け入れ率は元来100%であるべきで、指標にそぐわないのでは。100%に達していない数値を「達成値」にしてしまうと住民の不安を煽るのではないかという懸念が生まれます。		二次救急の患者受け入れ率について、様々な要因で受け入れできない件数が過去の実績で約2%程度あることから、98%を目標値として設定しております。今回の計画についても98%を設定していますが、ご指摘のとおり100%を目標とすることについては、今後の計画見直し時に検討いたします。	医療福祉政策課
2	1-2-1	福祉総合相談	目標値の指標が件数であることに疑問です。特に複雑な個別ケースが解決した件数というのは、個別の件数に対して解決した数というので割合が大事かと思うのですが、件数を指標におく理由を知りたいです。それによって解決した件数が少なくても、進捗度としての評価は変わってくるように感じます。	進捗度＝成果指標（KPI）達成状況	以前も同様の指標をいただいており指標の変更を検討しましたが、計画期間の途中ということもあり指標の変更ができなかったという経緯があります。このような理由から次期計画では当該指標を「複雑な個別ケースが解決した件数」から「複雑なケースの解決割合」に変更したところです。 (参考) 令和2年度解決割合：59.34%	地域包括支援センター
3	1-2-5	社会福祉・地域福祉	地域予防対応力（自助・互助）のポイントは何のように計算しているのか。		地域予防対応力は自助が6項目、互助が3項目の計9項目を設定しています。自助はサロンや出前講座の参加者数、老人クラブやシルバー人材センターの登録者数などで、健康寿命の延伸や介護予防のために自ら取り組む活動になります。互助は介護予防リーダーやいがい見守り支援員の養成講座の受講者数などで、身の回りの人を支援する活動になります。どちらも人口千人あたりの人数として算出しています。	医療福祉政策課
4	1-2-5	社会福祉・地域福祉	地域予防対応力（自助）のポイントが大きく減少した理由は何か。		令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な活動がこれまでどおりに行うことが出来ませんでした。特にサロンについては多くの地域で一時期開催できず、再開時期についてもハラハラだったこともあり、大きく減少しています。しかしながら、それが地域における自助意識の低下とイコールになっているわけではないと考えています。	医療福祉政策課
5	1-3-1	子育て・少子化対策	こんにちは赤ちゃん訪問率の増加で進んだという評価は疑問です。市民の参画・満足ともに50%を切り低いです。強いて言えば、2017年と参画・満足がさほどかわりません。指標2においても1歳半の親というかなり限定的なアンケートだけで結果分析が本当にとれているのでしょうか。「切れ目のない支援活動」というのを掲げているのですが赤ちゃん訪問(0歳)と1歳半までの分析指標のままでいいのでしょうか。赤ちゃん訪問の数値は高水準ですので今後は赤ちゃん訪問の実施率の結果分析の指標は変えていく時期かと思いました。		1歳6か月健診の受診率(令和2年度97.3%)が高いので、経年的にアンケート結果を分析することは、伊賀市で子育てをしている保護者の指標として捉えてよいと考えます。また、「切れ目のない支援活動」は妊産婦からの支援が必要です。出産後間もない時期からの支援がその後の子育て支援にもつながると考えます。こんにちは赤ちゃん訪問率がこのまま推移するようなら今後指標の変更の必要があると考えます。	健康推進課
6	2-2-1	環境保全	環境保全指標。市内河川環境基準達成率について、8地点の基準を満たしているとのことだが、水質検査の調査地点を精査し水質検査を実施。とありますが、検査場所は一定で決まった場所か、その都度違う場所で実施するのか。また、地域の河川の汚染がひどくなっているという市民の申告があった場合、調査してもらえない体制はないのかお伺いしたい。		水質検査は一定の決まった場所で行い、同じ場所での年毎の推移を監視しています。汚染がひどくなっているとの申告があれば調査いたします。	環境政策課
7	3-3-2	商工業	商工業に関してコロナの影響を示す指標がないため総合評価ができないため、コロナが商工業に対してどのような影響を与えたかがわかる指標を出してほしい。		コロナ禍が商工業に対して与えた影響がわかる指標は出せません。理由はH27年度から6年間同一の指標で比較しているためです。	商工労働課
8	3-3-2	商工業	商工会議所・商工会の新規入会数は、各主体が取り組むべき内容のものであり、行政の直接関与に及ぶ成果ではないのでは？散えて指標とするならば「主な取り組み」にある①支援事業②振興事業から指標を見出せないのでしょうか？		指標の変更はできません。理由は「商工業活動を盛んにする」ための指標はどれも行政の直接関与に及ぶものではなく、各主体が取り組んだ結果波及するものだからです。	商工労働課
9	5-2-1	男女共同参画	女性リーダー養成講座参加者率はどのように計算しているのか。		男女共同参画講座の参加者の目標を300人とし、目標達成率を計算しています。(令和2年度は講座参加実績80人であったため、80人÷300人≒26.7%)	人権政策課
10	5-2-1	男女共同参画	男女共同参画の分野においては、審議会等への女性登用率を指標に掲げています。審議会ではどのようにして委員の選出を行っているのでしょうか。女性自身の参画意識の低さがあるから。とは、何から分析した結果なのでしょう。男女の区別のない社会を目指すためには、こどもの頃から幼児教育が必要となってきます。子供に対しての取り組み、啓発はどのような形で行われたのでしょうか。		審議会委員の選出方法は、関係機関からの推薦や公募等審議会により異なります。「伊賀市男女共同参画意識の低さについては「男女共同参画に関する意識調査」結果より分析しています。ご指摘のとおり、男女共同参画社会を目指すために、子どもからの教育啓発は重要です。「伊賀市男女共同参画基本計画」では「保育・学校教育・生涯学習等における男女共同参画の推進」を基本施策として取り上げて推進しています。	人権政策課

NO.	施策番号	施策キーワード	事前質問	事務局補足	回答	担当部局
11	6-2-1	文化・芸術	「文化ホールの入場者数」という指標に青山講堂舎の人数を含めるのは、過年度と比較する意味でも、おかしいのではないか。		過年度と比較する観点から、文化ホールの入場者数のみとします。 入場者数 4,894人	文化交流課
12	6-3-1	市民活動	NPO法人数が減少傾向にある中、一般社団法人や一般財団法人は増加傾向にあると考えられるため、指標に一般社団法人や一般財団法人数を加えてはどうか？		多くの市民活動団体は、法人格を取得せず活動していることから、第3次総合計画においては、法人数を指標とせず、市民活動センターの利用件数を指標としました。	地域づくり推進課
13	6-3-1	市民活動	市民活動団体登録数という指標が、H27の現状値である280に対して、R2の目標値と実績値がともにそれを下回っているのに、達成率100%というのは、おかしいのではないか。		市民活動登録数については、登録後、活動停止などにより登録数と実数の乖離があったことから、平成29年度に再登録を行っていただきました。 そのため、目標値を下方修正したものです。	地域づくり推進課
14	7-1-2	広聴広報	アフターコロナ時代におけるリモートワークやオンライン会議の普及率の把握はどうなっているか？		職員個人のPC55人（台）にテレワーク環境の設定を行い、令和2年7月時点で延べ466人のテレワーク実績となっています。 またオンライン会議のシステムは、令和2年で延べ595回の利用実績となっています。 今後も必要に応じ実施状況の把握に努めます。	デジタル自治推進局
15	7-1-2	広聴広報	ホームページのアクセス件数増加を実績として、バナー広告の誘致や単価上昇を検討してはどうか。		広報紙からの誘導（QRコードの掲載）及び新型コロナウイルス感染症情報の閲覧によりホームページのアクセス件数は増加していますが、バナー広告は10枠中2枠の掲載に留まっています。引き続き、掲載希望者が増加するよう広告誘致に取り組みます。	広聴広報課
16	7-2-4	情報化	最初から100%達成の指標は分析する意味がないのではないかと指標の見直しを求めます。	指標：①システム安定稼働率、②セキュリティ事故無発生率	第3次基本計画では、「基本事業：デジタルトランスフォーメーション」の成果指標を「オンラインで申請可能な行政手続の数」として設定しています。	デジタル自治推進局

4. 予算・決算に関すること

NO.	施策番号	施策キーワード	事前質問	事務局補足	回答	担当部局
1	1-1-1	健康づくり	健康増進事業のR3当初予算が前年度の倍以上に増えているが、なぜか。		令和2年度までは、健康増進事業の健康教育事業、健康相談事業、訪問指導事業、健康診査事業それぞれで予算を計上していましたが、健康増進事業として一本化したためです。	健康推進課
2	1-1-2	医療	④国民健康保険事業と⑤後期高齢者医療事業のR2年度決算額が当初予算額の100倍以上に増加したのはなぜか。		予算・決算額は、基本事業に紐づく各事務事業シートの金額を束ねたものですが、今年度より事務事業の仕分けに向け、一般管理経費を含んだ事務事業シートを新たに作成したためです。予算額を修正します。	(事務局回答)
3	1-2-3	高齢者支援	参加度向上のためには在宅高齢者援護事業の推進が重要であると思うが、R2年度決算額に比べてR3年度当初予算額が1/10に減っているのはなぜか。		介護保険制度が浸透してきたことにより、寝たきり高齢者等福祉手当を廃止したため。	介護高齢福祉課
4	1-3-1	子育て・少子化対策	②子育て支援対策事業のR2年度予算額が、当初に比べて決算が1/6に減少したのはなぜか。		予算額の入力に誤りがあったため、修正します。	(事務局回答)
5	2-2-1	環境保全	①地球温暖化防止に向けた取り組みの推進のR2年度予算額が、当初に比べて決算が1/15に減少したのはなぜか。		ご覧いただきました施策評価シートは修正前のR2年度決算額988,794円であり、LED防犯灯の8,954,000円と伊賀市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)策定業務委託料2,090,000円を計上しておりませんでした。修正後の決算額は12,032,794円となり、当初予算14,857,000円に対し、執行率は約81%になります。書類の不備について大変申し訳ございませんでした。	環境政策課
6	3-2-1	農業	⑤農業・農村の多面的機能維持向上への支援のR3当初予算が前年度の倍以上に増えているが、なぜか。		多額の国庫補助がある事業(団体営ため池等整備事業等)が新規で実施されるため	農村整備課
7	3-2-2	森林保全・林業	②木材の利用促進のR3当初予算が前年度の半分以上に減っているが、なぜか。		事務事業の内容について精査中のため、精査後にお示しします。	(事務局回答)
8	3-3-1	中心市街地活性化	①街なみ環境整備事業・市街地整備推進事業のR3当初予算が前年度よりも大きく減っているが、なぜか。		①街なみ環境整備事業において、年度計画に基づきさまざまな広場、成瀬平馬家長屋門などが完成したため。 ②完成した施設の維持管理経費について、R3から新規事業を設定し、経常経費を移行したため。	中心市街地推進課
9	4-1-1	都市政策	③良好な景観形成の促進のR2年度予算額が、当初に比べて決算が大きく減少したのはなぜか。		景観の保全・形成に要した建築費用の一部を助成する制度を設けていますが、R2年度は実績がなかったため、決算が大きく減少しました。	都市計画課
10	5-2-1	男女共同参画	②男女の人権尊重と③ワークライフバランスの推進について、R3年度当初予算がともに0となっているのはなぜか。		令和3年度より「男女共同参画推進事業」「男女の人権尊重事業」「ワークライフバランス推進事業」を「男女共同参画推進事業」1本にまとめたためです。	人権政策課

5. その他

NO.	施策番号	施策キーワード	事前質問	事務局補足	回答	担当部局
1	3-1-1	観光	課題欄では、①「地域ぐるみの観光誘致と情報発信」と②の「地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり」は、共に主体を「地域」に置いたものであり、極論すればこの2つの課題はひとまとめにして検証できたのではないかと課題の分類ができていないため、読んでいて理解に混乱が生じます。別の観点からの課題整理は難しかったのでしょうか？	課題欄＝施策評価シート【ACTION】課題欄	課題欄については、施策評価シートの構成上、基本事業ごとに課題を整理することとしています。	（事務局回答）
2	3-4-1	産業立地	参加度のH3O、R1のデータがないのはなぜか。		計画書に記載している市民の役割の主体が企業（事業所）としているため、市民参画度はこれまで聞いていませんでしたが、第3次基本計画の策定にあたり、市民の役割を加えたことに伴い、R2年度アンケートでは項目に追加したため、R2年度のみのデータとなっております。	（事務局回答）
3	3-5-1	雇用・就業	参加度のH3O、R1のデータがないのはなぜか。		計画書に記載している市民の役割の主体が企業（事業所）としているため、市民参画度はこれまで聞いていませんでしたが、第3次基本計画の策定にあたり、市民の役割を加えたことに伴い、R2年度アンケートでは項目に追加したため、R2年度のみのデータとなっております。	（事務局回答）
4	5-4-1	生涯学習	新図書館建設の進捗状況はどうなっているか？		令和3年4月に実施した図書館ワークショップでは参加者から積極的な意見を聞くことができました。新図書館移転整備や運営において、これらの意見等を可能な限り反映していきたいと考えており、にぎわい忍者回廊事業の全体スケジュールに合わせて進めていきます。（令和3年10月頃募集要項等公表、令和6年度開館予定）	上野図書館
5	6-4-1	住民自治	住民自治協議会問題と移住問題を同じカテゴリで評価することは難しい。移住施策は大変高く評価するが、住民自治協議会に対しては支所再編問題や自治基本条例の改正を踏まえて、早急な見直しが必要。		第3次総合計画においては、住民自治と移住施策は、切り離し、「定住・関係人口」のカテゴリの中で事業を行っていきます。	地域づくり推進課
6			・施策ごとに指標の捉え方が異なるケースが散見されます。 例えば、1-2-1「福祉総合相談」の指標②では問題を終結した件数（解決させた数？）としていることに対し、 1-2-2「障がい者支援」では支援センターで受け付けた相談件数を指標としており、成果に結びつくものではありません。 各課の指標設定に対する庁内マニュアルのようなものはあるのですか？		指標設定について、第2次再生計画では外部評価での意見を踏まえ、サブ指標を設定しているところですが、第3次基本計画では、各基本事業において成果指標を設定し、事業の成果をより検証しやすいように指標の設定を行いました。	総合政策課